

市内各中学校の生徒の皆さんが、自分たちの学校の話などを取材し、編集したものを紹介します。

上尾中学校



●「あいさつ運動」の推進
私たちが通う上尾中学校は生徒数が約900人という、とても大きな学校です。年間を通してさまざまな行事が行われ、生徒一人一人が自分の目標に向かい努力しています。今回は、上尾中学校を知り尽くしている第66代生徒会執行部が、上尾中学校を紹介します。

力が芽生え、学校の雰囲気も良くなり、笑顔あふれる学校になりました。

●ボランティア活動への参加

上尾中学校には「サマーボランティア」というものがあります。これは、夏休みに行われる「小学校学習支援ボランティア」「紙芝居読み聞かせボランティア」「老人ホーム訪問」「特別支援学校訪問」の四つのボランティア活動のことをいいます。学校中にポスターを掲示し、積極的に参加の呼び掛けを行いました。その結果、多くの参加希望者が集まり、大成功を収めました。

●「NoチャイムWeek」の実施

●「あいさつ運動」の推進
私たちは、あいさつの大切さを実感し「あいさつ運動」を始めました。この運動は、授業の始めと終わりのあいさつを毎時間、各教科の担当の先生に評価して採点してもらい、その得点を学級・学年で競い合う取り組みです。クラスで協力して入賞を目指そうと、団結

私たちは、「NoチャイムWeek」という、1週間チャイムを鳴らさない取り組みをしています。その結果、全校生徒が時間を意識して行動できるようになりました。また授業が始まる前には学年委員、生活委員による呼び掛けが増え、クラスみんなが授業の始まる前に自然に着席できるようになりました。そして修学旅行やスキー教室といった校外行事でも、5分前行動ができるようになりました。

これらの活動は、私たち上尾中学校生徒が自ら発案し、実践してきたものです。今後もより良い学校になるような活動を考え、実践していきたいと思っています。



あいさつ運動

私たちは、地域との関わりを大切にし、さらに飛躍できるようにがんばっていきます。

Ageo Primary school News

※今回で「あげおジュニア通信」中学校編は終了します。5月号からは小学校編が始まります。ご期待ください。



子どもの笑顔と親の元気をみんなで応援

子育て応援ガイド

一人じゃない子育ては…
地域の子育て支援拠点を
紹介します



地域の子育て家庭への支援の充実を図るため、市内にある一部の保育園や幼稚園などに、子育て支援拠点施設(子育て支援センター)が設置されています。主に0～3歳の子どもと保護者が気軽に利用できる交流スペースがあり、子育てに関する講座やイベント、育児相談を行っています。

こどもの園 プラムハウス

プラムほっとステーション

ところ 西宮下1-16-1
電話 776-6771
実施日 火・金曜日/午前9時30分～午後3時15分(0時30分～1時15分は昼休み)
水曜日/午前8時30分～午後1時30分 ※弁当の持ち込みも可能です。

家庭的な雰囲気、室内のおもちゃや園庭の遊具を使って親子で遊びます。予約は必要ありません。時間のあるときに遊びにきてください。また時期により保育園児と一緒に行事に参加したりします。曜日によって開放場所が変わりますので、詳しくはお問い合わせください。

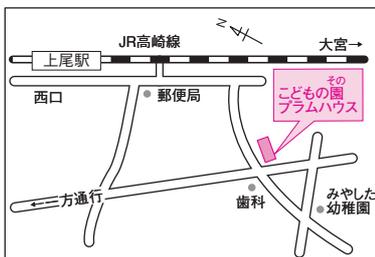
親子が集う交流の場



音楽会



室内遊びの様子



ワンポイントアドバイス



Q 子どもが乱暴で困ります。お友達と仲良く遊べるようになってほしいです。

A 言葉でうまく表現できない年齢の子どもの場合、物を投げたりたたいたりなどがその子なりの表現方法である場合もあります。成長とともに行動ではなく言葉で伝えられるようになり、お友達とのやり取りがスムーズになることが多いようです。しかしいけないことはいけないと繰り返し伝えることも大切です。言葉がまだ理解できないうちは、子どもの手や体を止めて「ダメ」ときちんと伝えましょう。